

教育旅行による旅客フェリー利用促進の取組（令和4年度）

1. 背景

- ◆北海道内の中・長距離フェリーの旅客利用者数は1994年をピークに減少し、新型コロナウイルス禍にあっては大きく減少。
- ◆海事・物流産業においては少子高齢化の中、人材の確保・育成が重要な課題となっている。
- ◆海洋基本法（2007年制定）において、海洋に関する教育の推進が要請されている。
- ◆新しい学習指導要領（2017年改訂）において、地域間の結びつきの学びとして物流の理解等が求められている。

2. 目的

- ◆海事・物流産業の役割や重要性等の理解醸成を図り、人材確保・育成に寄与
- ◆ウイズ・アフターコロナ時代を見据えた旅客フェリー事業の活性化

3. 令和4年度の取組

- 1.事業内容 (1)東北、関東圏への送客事業 (2)東北、関東圏からの誘客事業
- 2.ターゲット (1)北海道内中学校の修学旅行 (2)北海道内高校の修学旅行 (3)東北、関東圏の教育旅行
- 3.事業概要 (1)北海道内の教育関係者、旅行会社等を対象としたファムトリップ実施
(2)北海道内高校に対するフェリー利用の提案
(3)北海道観光振興機構事業（教育旅行）との連携
①東北、関東圏をターゲットにした教育関係者等の招へい ②教育旅行説明会等への参加

4. 東北・関東圏への送客事業（体験会の実施）

- 1.実施日 大洗航路（商船三井フェリー）：令和4年9月9日(金)～9月11日(日)
仙台航路（太平洋フェリー）：令和4年9月30日(金)～10月2日(日)
- 2.対象者 北海道内の教育関係者及び旅行会社
- 3.参加者 大洗航路：教育関係者 7名、旅行関係者 2名
仙台航路：教育関係者 3名、旅行関係者 8名
- 4.目的
 - ◆学習プログラムの学びの効果を関係者に訴求し、フェリーを利用した多様な教育旅行商品の開発を促進する。
 - ◆フェリーをはじめとする海事・物流産業施設等を利用し、キャリア教育やSDG sを意識したプログラムを構成して、修学旅行におけるフェリー利用の優位性と実用性をPR。
 - ◆教育関係者と旅行会社による学習プログラムのクオリティー等の検証。

5. 事業実施スケジュール

R4年3月	企画書作成
4月～5月	事業提案／協力依頼
6月～8月	実施内容検討 対象者へ呼びかけ
9月～11月	体験会実施 ①9.9～ ②9.30～ 関係事業者と課題整理
12月～2月	報告書作成 等
R5年3月	令和5年度事業検討・調整

フェリーを利用する修学旅行体験会（大洗航路）

1 日目



RORO船見学



物流倉庫見学



港湾荷役デモ + 荷役機械等体験乗車



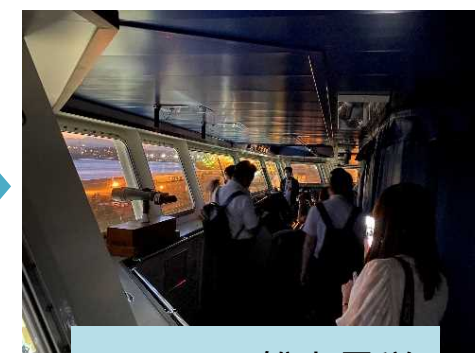
通関士講話



水先人講話



船長講話



フェリー船内見学

【参加者からの意見】※アンケート抜粋

- ・ キャリア教育（職業体験学習）の一環として、教育的価値があると思う。
- ・ 迫力あるシャシーの積込作業を見学することで、仕事に対する魅力を感じた子供たちが将来の日本の運送業界を支える人材になり得ると感じた。
- ・ 日常生活で何気なく手にしている商品が、様々な人の手を経て自分の元に届く事を知ること、物に対する有難みや各国の産業構造を学びたいという好奇心を育てることができると感じた。
- ・ 海の仕事に関する知識は学校にはないので、生徒にも教員にも勉強になると考える。

フェリーを利用する修学旅行体験会（大洗航路）

2～3日目



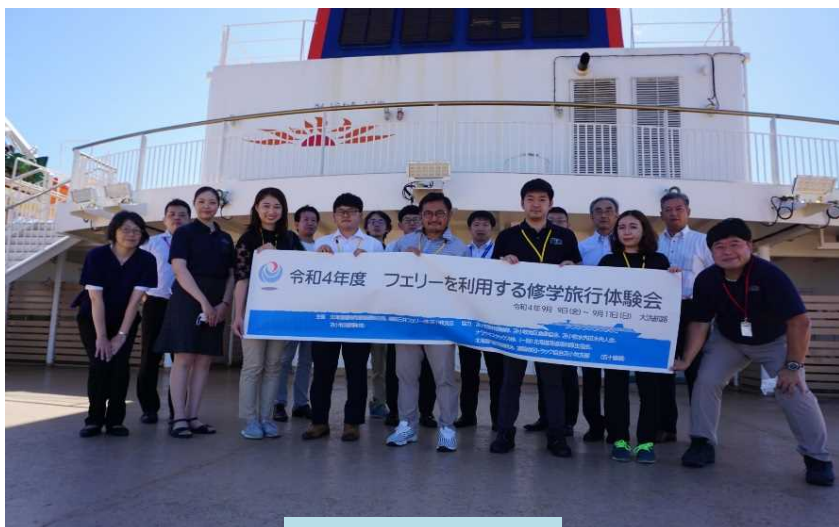
アテンダントクルー・船員による特別講話



参加者意見交換会



船上から見た大海原



集合写真



弘道館



いわき震災伝承みらい館



アクアマリンふくしま



中浜小学校

- ・ 命の尊さと地域力などの大切さを学べるものであった。
- ・ 被災地を実際に目の当たりにすることで、改めて防災意識を高めていかなければならないと痛感しました。

フェリーを利用する修学旅行体験会（仙台航路）

1 日目



運輸局講話



RORO船見学



飼料倉庫見学



飼料荷役見学



集合写真



水先人講話



船長講話



フェリー船内見学

【参加者からの意見】 ※アンケート抜粋

- ・フェリーに馴染みのない生徒にとっては、乗船の体験だけでなく、船内での仕事の内容や、講話などを通して、大きく視野を広げる可能性を感じた。
- ・フェリーの利用を検討する上では、非常に参考になりました。200人規模の学校の対応が可能であることがわかりました。
- ・海に関わる学習内容として大変秀逸で、経済（物流）、科学や道徳として、自然への畏敬（津波）、恩恵・美しさ（水族館）と中学生でなくともツアーの中で感じる部分がありました。

フェリーを利用する修学旅行体験会（仙台航路）

2～3日目



集合写真



荒浜小学校



みやぎ東日本津波伝承館



女川町観光協会まちづくり講話



女川町石碑



うみの杜水族館



JRフルーツパーク仙台荒浜



仙台市との意見交換



仙台城跡



瑞鳳殿

- ・被災現場での震災学習は、強く生徒の心に響くものであり、価値があるものだと感じた。
- ・フェリーでの修学旅行は、運航時間や行程の都合上、見合わせておりましたが、この度の体験会において、宮城県の震災学習の価値を改めて確認することができました。